

令和7年度 春学期 授業評価アンケート結果

令和7年9月26日
滋賀文教短期大学

1. 目次

ページ	内容
1	1. 目次
1	2. 授業アンケートについて
2	3. 授業アンケート質問項目
3	4. 授業アンケート集計結果
4	(1) 全学
5	(2) 国文学科全体
6	(3) 国文学科 1 年生
7	(4) 国文学科 2 年生
8	(5) 子ども学科全体
9	(6) 子ども学科 1 年生
10	(7) 子ども学科 2 年生
11	5. 全学的考察
12	(1) 授業アンケート結果について
13	(2) 授業の質向上のために
13	6. 国文学科全体の考察
15	(1) 授業アンケート結果について
15	(2) 授業の質向上のために
15	7. 子ども学科全体の考察
15	(1) 授業アンケート結果について
15	(2) 授業の質向上のために
15	8. 授業アンケート回答率の推移

2. 授業アンケートについて

■概要

本学では、実習科目を除く全科目の 14 回目または 15 回目で約 10 分程度の時間を設け、授業アンケートを実施している。学生は、学生ポータルサイトからアンケートに無記名式で回答する。

■実施期間

学年暦において 14 回目または 15 回目の授業内で実施する。

全学年全学科共、令和 7 年 7 月 14 日～8 月 8 日に実施した。

■授業アンケートの活用

授業アンケートの集計結果（学務課教務担当による集計）、科目レベルの学修成果の査定結果（授業アンケートによる学生の達成実感度と科目 GPA による査定）の主に 2 点をふまえて、授業検討票に省察を記録する。

本学の科目レベルの査定においては、学生の達成実感度 60%以上かつ、科目 GPA が 2.00 から 3.00 までのときを、望ましい水準とアセスメント・プランに定めている。

これらをふまえて、科目担当教員は授業に関してどのような工夫をすれば学生がより学修成果を獲得できるかを検討し、次年度に向けたシラバス改善案を記録する。

さらに、全科目の授業アンケート結果や授業検討票をもとに、各学科の総評を学科長が、全学的総評を FD 委員長が行う。このような取り組みにより、科目レベルだけでなく組織的に授業のさらなる質向上に努めている。

授業アンケートの結果は、概要を本学ホームページで過去 3 年間分、学生ポータルサイトで自由記述欄以外の数値を公開している。また、授業検討票は閉架式にて学務課教務にて保管し、閲覧希望者に開示している。

3. 授業アンケート質問項目

選択式の質問 1～8 は回答必須とし、自由記述欄である質問 9 については任意による回答とした。
質問と回答の選択肢を下記に引用する。

1. あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。【単一選択式】

シラバス記載の到達目標のうち、関連するディプロマポリシーにおいてカリキュラムマップ上で二重丸がついているものが科目担当教員から学生に 1 つだけ提示されます。

- ①達成できた ②おおむね達成できた ③達成できなかった

2. 授業内容は興味・関心が持てましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

3. 授業内容をよく理解できましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

4. この授業はシラバスに沿った内容でしたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

5. 学生の理解を促す工夫がなされていましたか。【単一選択式】

(言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク)

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

6. 工夫してほしいと感じたことを選んでください。【複数選択式】

- ①私語への対応 ②聞き取りやすい話し方 ③教科書・配布資料の活用
④分かりやすいパワーポイントや板書 ⑤特になし

7. 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。【単一選択式】

- ①非常にそう思う ②そう思う ③どちらでもない ④そう思わない ⑤全くそう思わない

8. あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に 1 週間あたりどのくらいかけましたか。【単一選択式】

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

- ①3 時間以上 ②2 時間以上 3 時間未満 ③1 時間以上 2 時間未満
④30 分以上 1 時間未満 ⑤30 分未満

9. あなたがこの授業を受ける中で感じた良かった点や改善してほしい点があれば、記述してください。

(特に記述することが無い場合は空欄のままでも問題ありません)

自由記述欄

4 - (1). 授業アンケート集計結果 (全学)

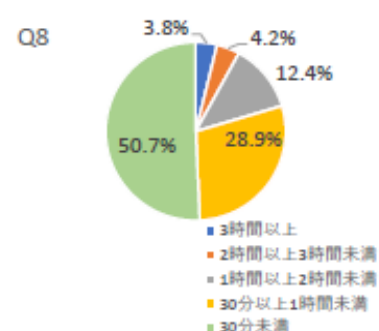
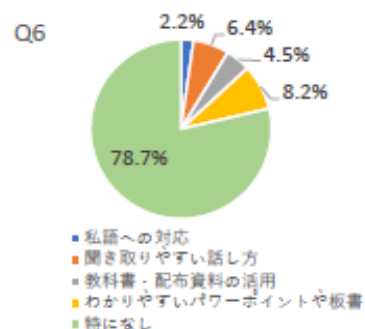
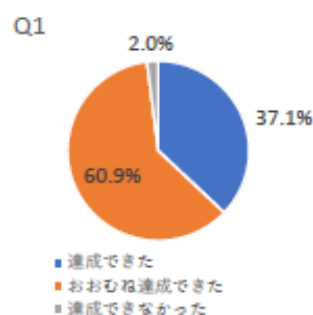
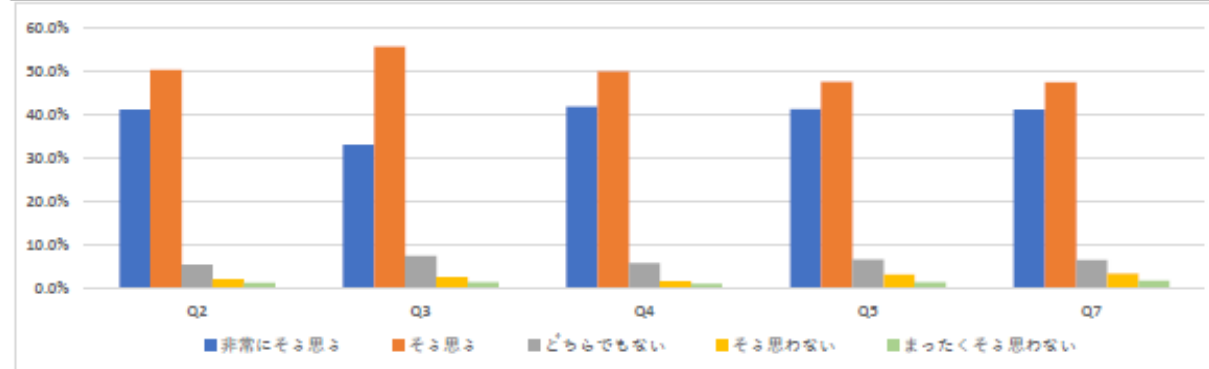
●全体 集計

受講人数	回収数	回収率
1292	1203	93.1%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	446	733	24	-	-	1203
Q2	496	606	63	24	14	1203
Q3	398	671	88	30	16	1203
Q4	505	602	68	17	11	1203
Q5	497	574	79	37	16	1203
Q6	29	84	58	107	1025	1303
Q7	496	572	77	39	19	1203
Q8	46	50	149	348	610	1203

	1	2	3	4	5	計
Q1	37.1%	60.9%	2.0%	-	-	100.0%
Q2	41.2%	50.4%	5.2%	2.0%	1.2%	100.0%
Q3	33.1%	55.8%	7.3%	2.5%	1.3%	100.0%
Q4	42.0%	50.0%	5.7%	1.4%	0.9%	100.0%
Q5	41.3%	47.7%	6.6%	3.1%	1.3%	100.0%
Q6	2.2%	6.4%	4.5%	8.2%	78.7%	100.0%
Q7	41.2%	47.5%	6.4%	3.2%	1.6%	100.0%
Q8	3.8%	4.2%	12.4%	28.9%	50.7%	100.0%



4 - (2). 授業アンケート集計結果 (国文学科全体)

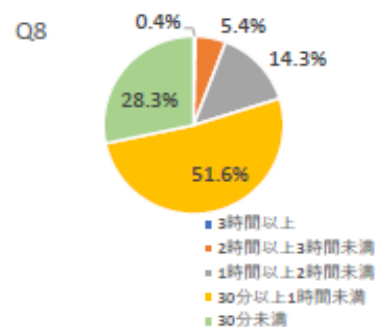
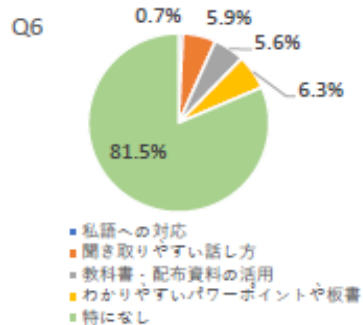
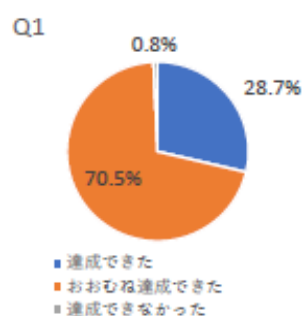
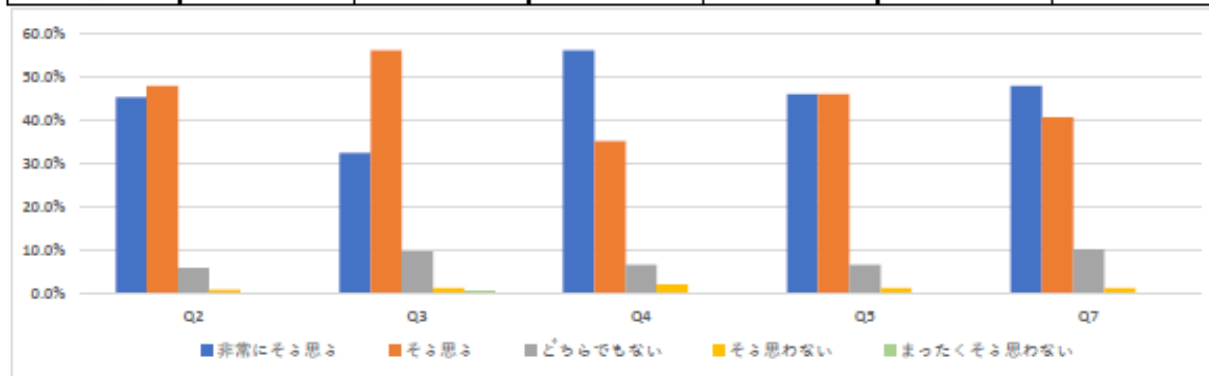
●国文学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
291	258	88.7%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	74	182	2	-	-	258
Q2	117	124	15	2	0	258
Q3	84	145	25	3	1	258
Q4	145	91	17	5	0	258
Q5	119	119	17	3	0	258
Q6	2	16	15	17	220	270
Q7	124	105	26	3	0	258
Q8	1	14	37	133	73	258

	1	2	3	4	5	計
Q1	28.7%	70.5%	0.8%	-	-	100.0%
Q2	45.3%	48.1%	5.8%	0.8%	0.0%	100.0%
Q3	32.6%	56.2%	9.7%	1.2%	0.4%	100.0%
Q4	56.2%	35.3%	6.6%	1.9%	0.0%	100.0%
Q5	46.1%	46.1%	6.6%	1.2%	0.0%	100.0%
Q6	0.7%	5.9%	5.6%	6.3%	81.5%	100.0%
Q7	48.1%	40.7%	10.1%	1.2%	0.0%	100.0%
Q8	0.4%	5.4%	14.3%	51.6%	28.3%	100.0%



4－(3)．授業アンケート集計結果（国文学科1年生）

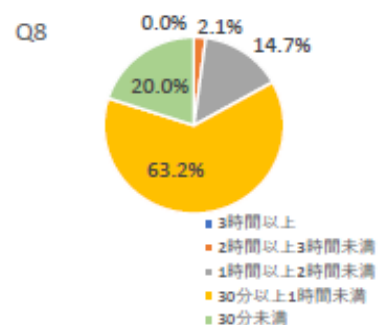
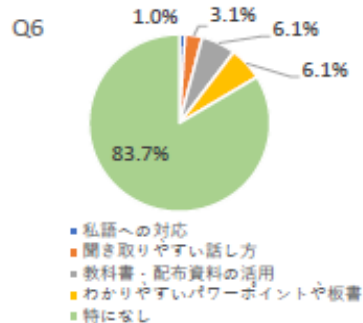
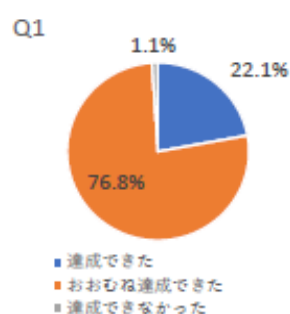
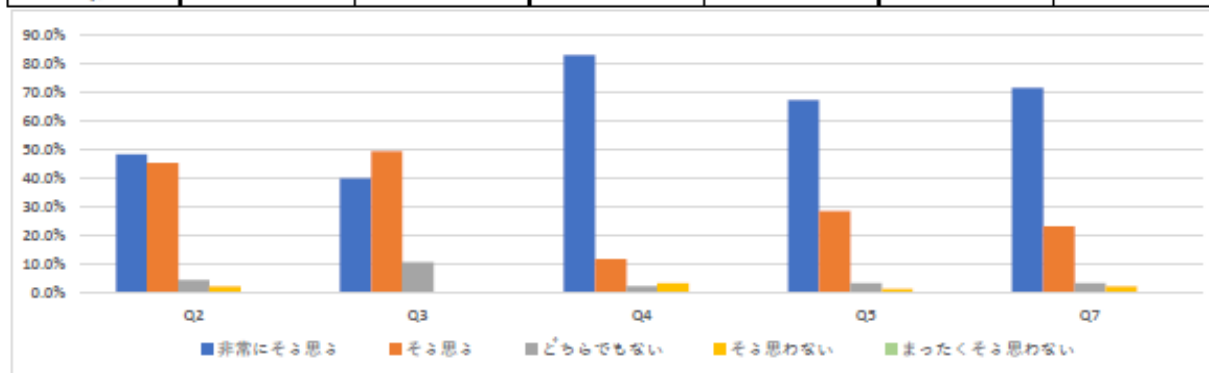
●国文学科1年生集計

受講人数	回収数	回収率
98	95	96.9%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	21	73	1	-	-	95
Q2	46	43	4	2	0	95
Q3	38	47	10	0	0	95
Q4	79	11	2	3	0	95
Q5	64	27	3	1	0	95
Q6	1	3	6	6	82	98
Q7	68	22	3	2	0	95
Q8	0	2	14	60	19	95

	1	2	3	4	5	計
Q1	22.1%	76.8%	1.1%	-	-	100.0%
Q2	48.4%	45.3%	4.2%	2.1%	0.0%	100.0%
Q3	40.0%	49.5%	10.5%	0.0%	0.0%	100.0%
Q4	83.2%	11.6%	2.1%	3.2%	0.0%	100.0%
Q5	67.4%	28.4%	3.2%	1.1%	0.0%	100.0%
Q6	1.0%	3.1%	6.1%	6.1%	83.7%	100.0%
Q7	71.6%	23.2%	3.2%	2.1%	0.0%	100.0%
Q8	0.0%	2.1%	14.7%	63.2%	20.0%	100.0%



4－(4)．授業アンケート集計結果（国文学科2年生）

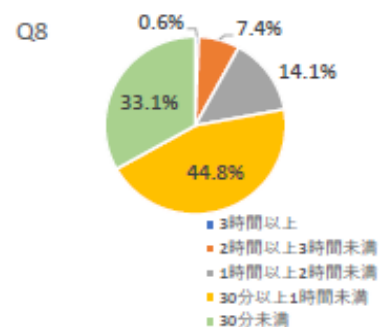
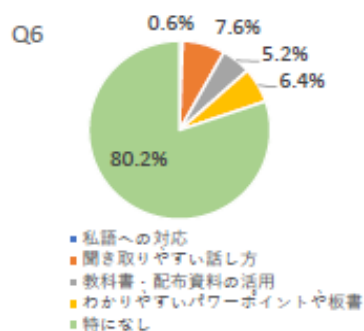
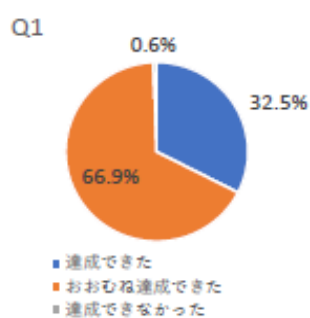
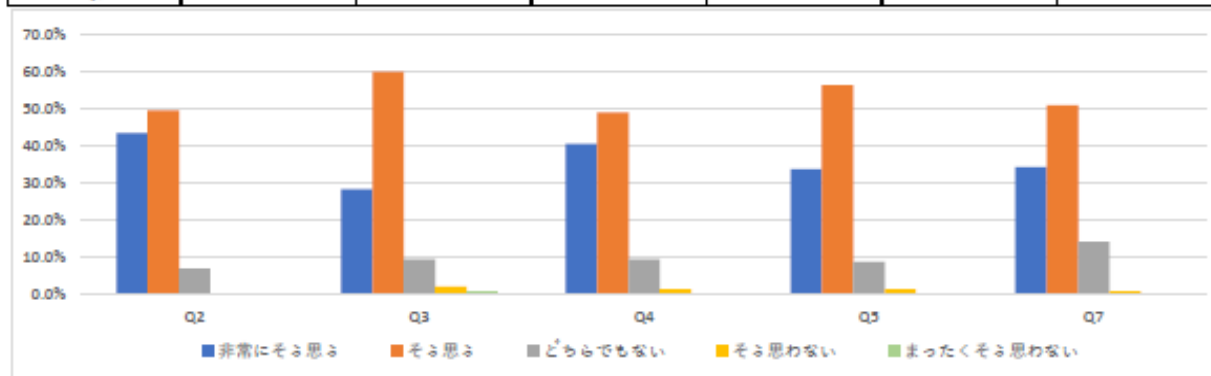
●国文学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
193	163	84.5%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	53	109	1	-	-	163
Q2	71	81	11	0	0	163
Q3	46	98	15	3	1	163
Q4	66	80	15	2	0	163
Q5	55	92	14	2	0	163
Q6	1	13	9	11	138	172
Q7	56	83	23	1	0	163
Q8	1	12	23	73	54	163

	1	2	3	4	5	計
Q1	32.5%	66.9%	0.6%	-	-	100.0%
Q2	43.6%	49.7%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%
Q3	28.2%	60.1%	9.2%	1.8%	0.6%	100.0%
Q4	40.5%	49.1%	9.2%	1.2%	0.0%	100.0%
Q5	33.7%	56.4%	8.6%	1.2%	0.0%	100.0%
Q6	0.6%	7.6%	5.2%	6.4%	80.2%	100.0%
Q7	34.4%	50.9%	14.1%	0.6%	0.0%	100.0%
Q8	0.6%	7.4%	14.1%	44.8%	33.1%	100.0%



4－(5)．授業アンケート集計結果（子ども学科全体）

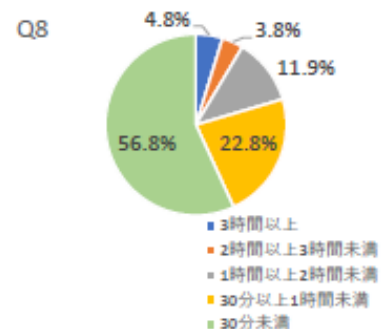
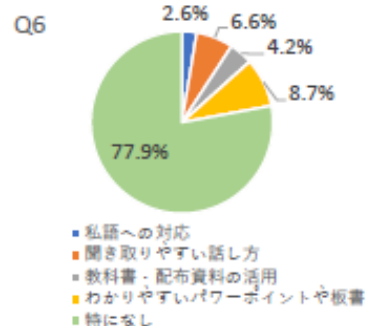
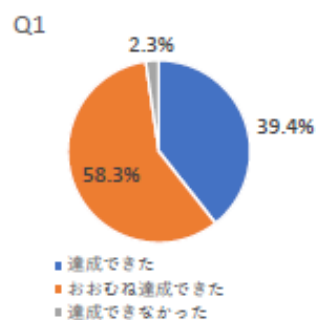
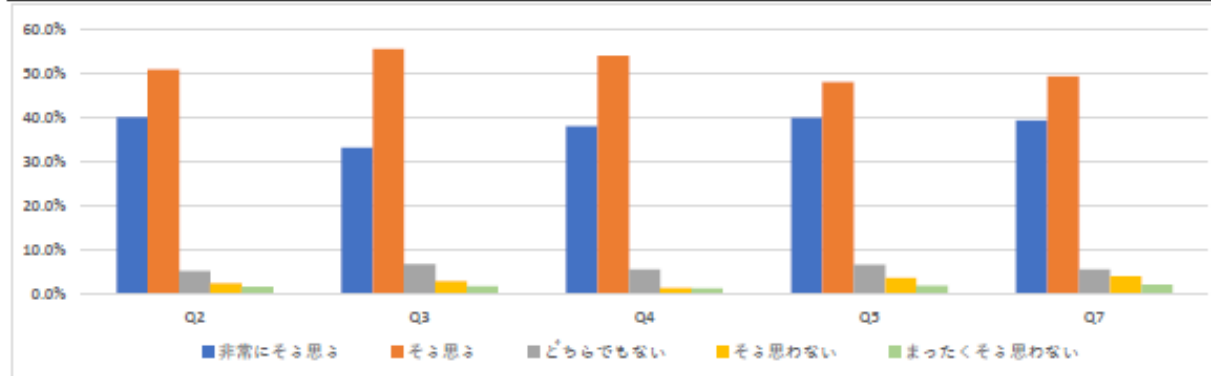
●子ども学科 全体集計

受講人数	回収数	回収率
1001	945	94.4%

*延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	372	551	22	－	－	945
Q2	379	482	48	22	14	945
Q3	314	526	63	27	15	945
Q4	360	511	51	12	11	945
Q5	378	455	62	34	16	945
Q6	27	68	43	90	805	1033
Q7	372	467	51	36	19	945
Q8	45	36	112	215	537	945

	1	2	3	4	5	計
Q1	39.4%	58.3%	2.3%	－	－	100.0%
Q2	40.1%	51.0%	5.1%	2.3%	1.5%	100.0%
Q3	33.2%	55.7%	6.7%	2.9%	1.6%	100.0%
Q4	38.1%	54.1%	5.4%	1.3%	1.2%	100.0%
Q5	40.0%	48.1%	6.6%	3.6%	1.7%	100.0%
Q6	2.6%	6.6%	4.2%	8.7%	77.9%	100.0%
Q7	39.4%	49.4%	5.4%	3.8%	2.0%	100.0%
Q8	4.8%	3.8%	11.9%	22.8%	56.8%	100.0%



4－(6)．授業アンケート集計結果（子ども学科1年生）

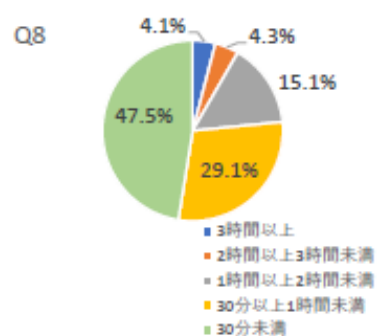
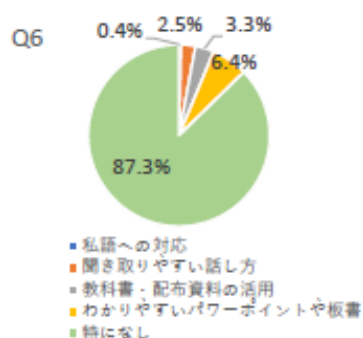
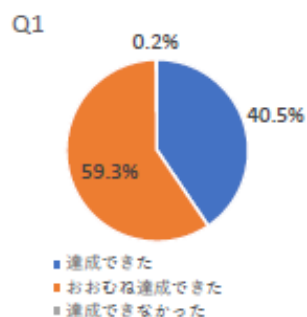
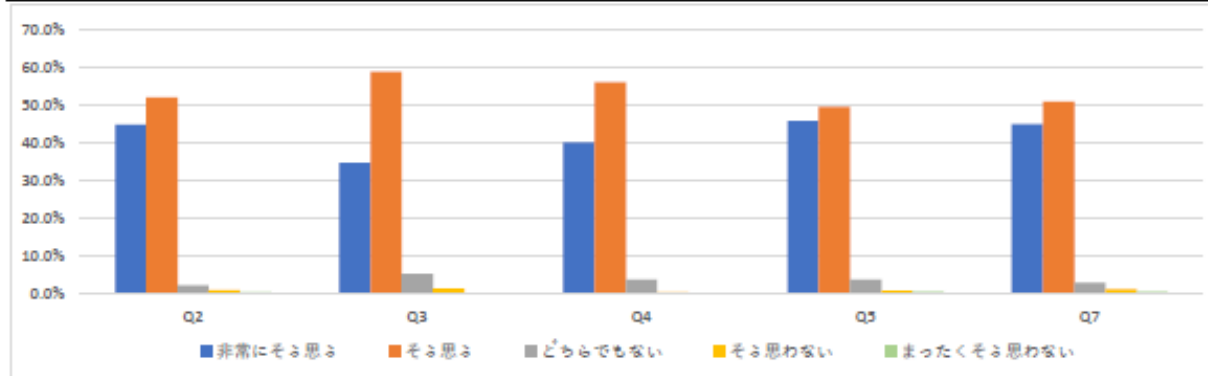
●子ども学科1年次生集計

受講人数	回収数	回収率
505	491	97.2%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	199	291	1	－	－	491
Q2	220	256	10	4	1	491
Q3	170	290	25	6	0	491
Q4	197	276	17	1	0	491
Q5	225	244	17	3	2	491
Q6	2	13	17	33	447	512
Q7	221	250	13	5	2	491
Q8	20	21	74	143	233	491

	1	2	3	4	5	計
Q1	40.5%	59.3%	0.2%	－	－	100.0%
Q2	44.8%	52.1%	2.0%	0.8%	0.2%	100.0%
Q3	34.6%	59.1%	5.1%	1.2%	0.0%	100.0%
Q4	40.1%	56.2%	3.5%	0.2%	0.0%	100.0%
Q5	45.8%	49.7%	3.5%	0.6%	0.4%	100.0%
Q6	0.4%	2.5%	3.3%	6.4%	87.3%	100.0%
Q7	45.0%	50.9%	2.6%	1.0%	0.4%	100.0%
Q8	4.1%	4.3%	15.1%	29.1%	47.5%	100.0%



4－(7)．授業アンケート集計結果（子ども学科2年生）

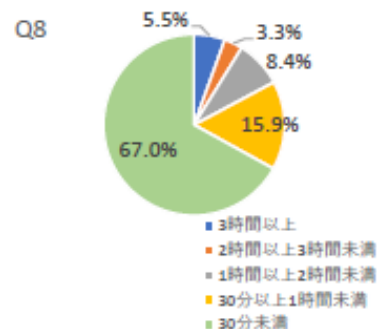
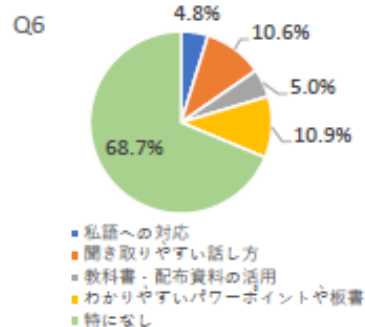
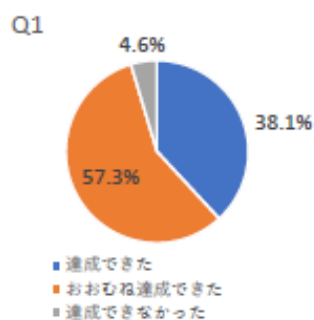
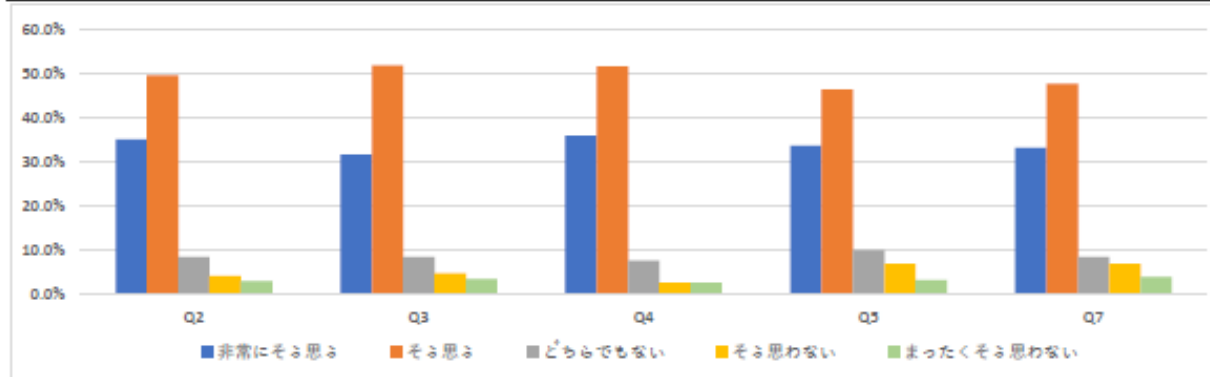
●子ども学科2年次生集計

受講人数	回収数	回収率
496	454	91.5%

* 延べ数

	1	2	3	4	5	計
Q1	173	260	21	－	－	454
Q2	159	226	38	18	13	454
Q3	144	236	38	21	15	454
Q4	163	235	34	11	11	454
Q5	153	211	45	31	14	454
Q6	25	55	26	57	358	521
Q7	151	217	38	31	17	454
Q8	25	15	38	72	304	454

	1	2	3	4	5	計
Q1	38.1%	57.3%	4.6%	－	－	100.0%
Q2	35.0%	49.8%	8.4%	4.0%	2.9%	100.0%
Q3	31.7%	52.0%	8.4%	4.6%	3.3%	100.0%
Q4	35.9%	51.8%	7.5%	2.4%	2.4%	100.0%
Q5	33.7%	46.5%	9.9%	6.8%	3.1%	100.0%
Q6	4.8%	10.6%	5.0%	10.9%	68.7%	100.0%
Q7	33.3%	47.8%	8.4%	6.8%	3.7%	100.0%
Q8	5.5%	3.3%	8.4%	15.9%	67.0%	100.0%



5－（１）．全学的考察（授業アンケート結果について）

今期も昨年度の春学期と同様、8項目の授業アンケートと自由記述を行った。ここでは、その中の5項目のアンケート結果を中心に考察する。

質問項目（１）あなたは、この授業の到達目標がどのくらい達成できましたか。

	達成できた	おおむね達成できた	合計
令和5年度春学期	50.6%	46.2%	96.8%
令和5年度秋学期	43.4%	54.0%	97.4%
令和6年度春学期	42.4%	55.6%	98.0%
令和6年度秋学期	39.2%	59.7%	98.9%
令和7年度春学期	37.1%	60.9%	98.0%

「達成できた」と回答した学生は減少傾向にあるが、「おおむね達成できた」との合計では、昨年までとほぼ同じ値である。

質問項目（２）授業内容は興味・関心が持てましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度春学期	55.4%	37.3%	92.7%
令和5年度秋学期	45.7%	47.7%	93.4%
令和6年度春学期	47.5%	44.7%	92.2%
令和6年度秋学期	45.1%	48.4%	93.5%
令和7年度春学期	41.2%	50.4%	91.6%

「非常にそう思う」と回答した学生は減少傾向にあるが、「そう思う」との合計では、昨年までと同様9割を超える値であり、多くの学生が授業に興味・関心を持つことができていると考えられる。

質問項目（３）授業内容をよく理解できましたか。

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度春学期	45.2%	45.2%	90.4%
令和5年度秋学期	37.4%	52.1%	89.5%
令和6年度春学期	37.6%	50.8%	88.4%
令和6年度秋学期	36.0%	54.8%	90.8%
令和7年度春学期	33.1%	55.8%	88.9%

「非常にそう思う」と回答した学生は減少傾向にあるが、「そう思う」との合計では、昨年までと同様9割に近い値であり、多くの学生が授業内容をよく理解できていると感じていることが読み取れる。

質問項目（５）学生の理解を促す工夫がなされていきましたか。（言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用、グループワーク）

	非常にそう思う	そう思う	合計
令和5年度春学期	54.6%	38.1%	92.7%
令和5年度秋学期	44.6%	46.8%	91.4%
令和6年度春学期	46.5%	44.7%	91.2%
令和6年度秋学期	42.4%	46.9%	89.3%
令和7年度春学期	41.3%	47.7%	89.0%

「非常にそう思う」と回答した学生は大きく減少傾向にあるが、「そう思う」との合計では微減であり、今後も

学生の理解を促す工夫を重ねていく必要がある。

質問項目（８）あなたは、この授業の予修・復修など自主学修に１週間あたりどのくらいかけましたか。

※授業に間接的に関係のある学修を含む。学内外を問わず、授業時間以外の時間を回答（例 ピアノ練習、基礎プロ準備、実習準備等）

	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
令和 5 年度春学期	2.3%	5.8%	21.9%	28.8%	41.2%
令和 5 年度秋学期	7.2%	5.2%	17.1%	25.9%	44.6%
令和 6 年度春学期	4.7%	3.7%	14.2%	30.0%	47.5%
令和 6 年度秋学期	6.2%	4.9%	12.0%	23.7%	53.3%
令和 7 年度春学期	3.8%	4.2%	12.4%	28.9%	50.7%

令和 5 年度春学期と比較して、「3 時間以上自主学修している」学生は増加しているが、「30 分未満」が約半数を占めており、今後も準備学修（予習・復習）を充実させるため、課題の内容や方法など改善していく必要がある。

5－（２）．全学的考察（授業の質向上のために）

授業内容への興味・関心（質問（２））及び、授業において学生の理解を促す工夫（質問（５））において、昨年までと同様 9 割近くの学生より肯定的な回答を得ている。講義形式の授業だけでなく、グループワークやプレゼンテーションへの主体的な参加を促す授業や、様々な資料や ICT 機器を活用した授業など、学生の理解を促す工夫がなされ、授業内容に興味・関心を持つことができる取組が反映されたと考える。

授業内容の到達目標の達成（質問（１））、授業内容の理解（質問（３））についての結果も、ほぼ例年通りの結果であった。教員の工夫により、授業の到達目標が達成でき、かつ学生自身もよく理解できたと思える授業となりつつあると思われる。

自主学修時間（質問（８））においては、「30 分未満」の学生の割合は増加傾向にあり、5 割以上を占めている。家庭での学修習慣を定着させるためには、個々の学生の学修へのモチベーションや学修意欲の向上が不可欠である。シラバスには、予修・復修の内容とその目安となる時間を記載しており、反転授業の実施や予修・復修に係る課題も提示しているが、家庭での学修習慣の定着に向けて一層の取組と工夫が必要である。

今後も、教員の F D 研修を計画的に実施し、学生が「主体的・対話的で深い学び」ができる授業の構築をめざして、大学全体として授業の質の向上を図っていきたい。

6－（１）．国文学科全体の考察（授業アンケート結果について）

令和 7 年度春学期の授業アンケートにおいて、国文学科全体の回収率は 88.7％であった。100％ではなかったが、約 9 割と十分に信頼できるデータが得られた。

質問項目（３）「授業内容をよく理解できましたか」について、「非常にそう思う」「そう思う」および両者の合計を過去 4 年間の同時期と比べると次のようになる。

【表 1】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和 3 年度春学期	23.1%	49.0%	72.1%
令和 4 年度春学期	24.5%	54.9%	79.4%
令和 5 年度春学期	33.5%	55.1%	88.6%
令和 6 年度春学期	23.6%	62.8%	86.4%
令和 7 年度春学期	32.6%	56.2%	88.8%

「非常にそう思う」「そう思う」の合計は 88.8％であり、これは過去 5 年間で最も高い数値であった。特に「そう思う」の割合は過去 5 年で最も高く、学修の定着が広く浸透していると考えられる。近年で最も高かった令和 5 年度（「非常にそう思う」が 33.5％）、また表にはないが令和 6 年度秋学期（「非常にそう思う」「そう思う」の合計が 89.2％）と比較しても同水準である。授業理解に関する自己評価は安定的に推移していることが確認できる。先に指摘した「そう思う」回答の多さからも、授業内容の理解に関する学生の自己評価がボトムアップしていると見ることができる。

同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

【表 2】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	40.0%	49.5%	89.5%
2 年生	28.2%	60.1%	88.3%

昨年度の同じデータは次の通りである。

【表 3】	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	23.2%	63.2%	86.4%
2 年生	24.2%	62.1%	86.3%

今年度 1 年生は「非常にそう思う」が前年より大きく上昇し、入学直後から授業理解において肯定的な様子がみられる。2 年生は「非常にそう思う」が 1 年次にくらべ少し伸び、「そう思う」も 6 割を超えており、安定した授業理解度が維持されている。

質問項目（８）の学習時間について、学年ごとの集計は以下の通りである。

【表 5】	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
1 年生	0.0%	2.1%	14.7%	63.2%	20.0%
2 年生	0.6%	7.4%	14.1%	44.8%	33.1%

昨年度の同じデータは次の通りである。

【表 6】	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
1 年生	2.1%	2.5%	15.7%	48.6%	31.1%
2 年生	6.5%	7.8%	23.5%	20.3%	41.8%

1 年生は「30 分以上 1 時間未満」が突出して多く、また 3 時間以上の学習時間の者は皆無であった。最低限の学修にとどまっていると言わざるを得ない。そのせいか、1 年生の春学期 GPA は例年に比べ低い者が多かった。授業理解についての肯定度の高さとも関連して、これらの点は今後の課題であり、秋学期以降の推移を注視する必要がある。ただし昨年度の 1 年生に比べ、学習時間が 30 分未満は 10％以上減っていることは述べておきたい。

学年の進行に伴い、2年生は1年次に比べて授業外学修時間が若干増加する傾向が見られ、特に「2時間以上」の層が前年より増えている。2年生の学習時間については、2年春学期は就職活動の繁忙期に当たっているため、飛躍的な増加を期待するのは難しいように思われる。

6－(2)．国文学科全体の考察（授業の質向上のために）

本学期においては、質問項目（3）の授業内容理解度に関する肯定回答の割合が過去5年で最高を記録した。これは前年度までの考察で指摘した学生の自己評価の変動を踏まえ、教育の質が向上した結果と考えられる。

また、令和6年度の考察で指摘した「授業理解の自己評価が一部で過大である」という傾向は、今年度では緩和されている。自由記述においても大きな改善要望は少なく、授業運営に対する満足度は引き続き高い水準を示している。

教員間の連携を通じた授業改善やプレゼンテーション指導の質向上は、学生のレポート・発表能力の底上げに寄与している。国文学科としては、授業運営の安定性を維持しつつ、授業外学修の質的充実を目指した工夫を重ねていくことが求められる。

一方で、授業外学修時間の「量」を増やすことには限界があるため、何度か指摘していることではあるが「質的転換」が不可欠である。すなわち、短時間の学修であっても効果的に学びを深める方法、例えば先行研究や資料の有効な活用、授業外活動と結びついた課題設定などをさらに推進する必要がある。授業外での自主的な読書や調査活動、社会活動など、授業外学習の範囲を超えた活動への誘いを積極的に行うことにより、学習習慣のさらなる定着を図ることが可能と考えられ、同時に人格的陶冶や自主性・社会性の涵養に資すると思われる。

「授業の質の向上」のためには、教員が授業に対して創意工夫のある取り組みを推進することが不可欠である。研修機会の充実などを通して、教員自身の専門性と指導力を高めていく必要がある。昨年度の考察で「他の教員・他の授業でどのようなことが行われているのかを知ること、授業の質向上に役立っていると考えられる」と記したが、今年度FDで教員間の「授業参観」が予定されており、「授業の質の向上」に資することを期待している。

7－(1)．子ども学科全体の考察（授業アンケート結果について）

①授業アンケート結果について

質問項目2、質問項目3、質問項目5について、3年間の推移を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目2：授業内容に関心が持てたか

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和5年度春学期	52.7%	39.3%	92.0%
令和6年度春学期	47.6%	43.9%	91.5%
令和7年度春学期	40.1%	51.0%	91.1%

質問項目3：授業内容が理解できた

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和5年度春学期	50.1%	40.9%	91.0%
令和6年度春学期	44.0%	45.4%	89.4%
令和7年度春学期	33.2%	55.7%	88.9%

質問項目5：授業に工夫があった

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
令和5年度春学期	56.7%	34.8%	91.5%
令和6年度春学期	48.2%	42.0%	90.2%
令和7年度春学期	40.0%	48.1%	88.1%

どの項目についても、ここ数年高い評価を示す結果がでている。9割前後の学生が、授業内容への関心が高く、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られ、授業内容も理解できているととらえている。

過去3年間の推移を見ると、「非常にそう思う」「そう思う」と回答した学生が、年々減少している。前年度と比較すると、今学期の「非常にそう思う」と回答した学生は、授業内容への関心では7.5ポイント減少、授業内容の理解は10.8ポイント減少、授業の工夫は8.2ポイント減少した。また、「非常にどう思う」「そう思う」の合計でも、授業内容への関心は0.4ポイント、授業内容の理解は0.5ポイント、授業の工夫は2.1ポイント減少するなど、どの項目でも前年度から微減している。

今学期も、学生の授業内容への関心を高めるために、グループワークや体験活動等の充実を図ってきた。しかしながら、学生の中にはグループワーク等を苦手とする者も見られ、不安な気持ちをもって授業に臨む学生がいることにも配慮していくことが求められる。

②学生の学修時間について

次に、「当該授業に関する授業外学修時間(週)」について、5年間の経緯を比較してみると、次のような結果であった。

質問項目8：当該授業に関する授業外学修時間(週)

	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
令和3年度 春学期	6.2%	4.5%	12.8%	24.8%	51.7%
令和4年度 春学期	4.3%	2.8%	10.8%	21.7%	60.5%
令和5年度 春学期	3.5%	3.0%	9.9%	19.7%	63.9%
令和6年度 春学期	5.1%	3.4%	12.3%	26.1%	53.1%
令和7年度 春学期	4.8%	3.8%	11.9%	22.8%	56.8%

1週間あたりの自主学修の時間は、前年度の春学期に少し改善が見られたものの、今学期は、「3時間以上」と回答した学生は前年度より0.3ポイント減少し、「30分未満」と回答した学生が前年度より3.7ポイント増加した。

また、前年度と今年度春学期の1年生と2年生の「当該授業に関する授業外学修時間(週)」を比較すると、次のような結果となった。

令和6年度 春学期	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
子ども学科 1年生	4.8%	3.1%	13.1%	27.6%	51.3%
子ども学科 2年生	5.6%	3.9%	10.9%	23.5%	56.1%

令和7年度 春学期	3時間以上	2時間以上～3時間未満	1時間以上～2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満
子ども学科 1年生	4.1%	4.3%	15.1%	29.1%	47.5%
子ども学科 2年生	5.5%	3.3%	8.4%	15.9%	67.0%

1年生については、前年度と比較して、「3時間以上」と回答した学生が0.7ポイント減少したが、「30分未満」と回答した学生が3.8ポイント減少し5割を切るなど、一定の改善が見られた。2年生については、前年度と比較して、「3時間以上」と回答した学生が0.1ポイント減少し、「30分未満」と回答した学生が10.9ポイント増加した。1年生のときの自主学修の時間と比較しても、「30分未満」と回答した学生が51.3%から67.0%に増加している。2年生の春学期は、3週間の教育実習で大学での授業が中断する時期もあり、生活リズムの変化や授業への集中が途切れる学期ではある。しかし、春学期の自主学修が「30分未満」の学生が7割近いという結果

は、大きな問題である。授業で出された課題に対して学びを再度ふり返り、自分で調べたり考えたりして、学びを確かなものにしていくことが主体的な学びの姿勢として大切である。教員一人ひとりが事前事後の学習を含めた課題の出し方を工夫するとともに、今後の学生に求められる学びの姿勢として引き続き指導していきたい。

③前年度または前学期の授業アンケート考察時から改善されたことについて

授業の質的な向上に向けた取組みの成果は継続されており、学生のアンケート結果として着実に出てきている。特に今学期は、1年生で「当該授業に関する授業外学修時間(週)」に改善が見られた。教員は、学生の実情を把握し、アクティブラーニングや体験的活動等を実践していく力量をより一層身につける必要性や、学生の学びの姿勢を育成することの重要性を自覚できたと思う。

今後も、学生の学習に対する意欲や関心、また不安な気持ちについての把握に努め、本学としてのアクティブラーニングの充実に努めていきたい。

7- (2). 子ども学科全体の考察 (授業の質向上のために)

PROG や教学 IR の学修成果の査定結果をもとに、目の前の学生に力をつけていくためには、日々、授業改善を意識して取り組むことが重要ととらえている。今後も引き続き、学科として、「授業の質の向上」の取組みを進め、グループワークや体験授業等アクティブラーニングを取り入れた授業実践を、様々な授業形態において進めていきたい。特に基礎力プログラムにおいては、2年間の学びを充実させるためにも、学び方の指導や Chromebook の活用に係る指導の充実に引き続き図っていききたい。

学科目標に掲げている「授業の質の向上」をより一層進めるためにも、教員が授業に対して創意工夫のある取組みを推進することが重要である。FD 研修会への積極的な参加をはじめ、授業改善に係る学生との懇談会(授業改善 FD) や学科での研修の機会を充実していくことも大切である。併せて、学生の学ぶ意欲、保育士資格や教員免許等を取得するという強い意志を育て、主体的な学習態度、困難や不安を乗り越える力の育成にもより一層取り組んでいく必要がある。

8. 授業アンケート回答率の推移

本学では、令和元(2019)年度より電子媒体である学生ポータルサイト (Campus Plan portal) を利用して授業アンケートを実施している。本学では授業アンケートは無記名式の回答である。

今学期と過去3年間について、回答率の推移を学科・学年別に比較する。

	国文学科		子ども学科		全学	
	回収率	回収/受講	回収率	回収/受講	回収率	回収/受講
令和4年度春学期	88.6%	504/569	81.7%	1221/1494	83.6%	1725/2063
令和4年度秋学期	92.1%	395/429	76.0%	1040/1398	79.9%	1435/1797
令和5年度春学期	98.9%	447/452	84.6%	884/1045	88.9%	1331/1497
令和5年度秋学期	88.8%	358/403	79.0%	728/921	82.0%	1086/1324
令和6年度春学期	94.5%	433/458	95.9%	962/1003	95.5%	1395/1461
令和6年度秋学期	89.6%	369/412	97.4%	834/856	94.9%	1203/1268
令和7年度春学期	88.7%	258/291	94.4%	945/1001	93.1%	1203/1292
平均・合計	91.7%	2764/3014	85.7%	6614/7718	87.6%	9378/10702

国文学科において、一昨年・昨年度の春学期と比べると若干の減少は見られるものの、全体として令和6年度より回収率が93～95%と高くなってきており、授業アンケートに対する学生の意識は向上していると思われる。

これからも学生が安心して回答できるよう、授業アンケートは無記名式かつ電子媒体での実施を継続する予定である。秋学期及び次年度も引き続き、学生の声をよく聴き、授業改善に向けて検討する材料を十分集められるよう、授業内での確実な授業アンケートの実施に努めていきたい。

以上